

医療

がん治療の最新情報

地域医療最前線

がん性腹膜炎や肝硬変でみられる難治性腹水貯留に対する治療法 腹水濾過濃縮再静注法(CART)



診療部長 鶴田 豊

鶴田病院(熊本市東区保田窪本町、鶴田克明理事長・総院長)は、がん性腹膜炎や肝硬変でみられる難治性腹水貯留に対する治療法として、腹水濾過濃縮再静注法(CART)という治療を行っています。食欲や日常生活動作の改善が得られ、闘病意欲を回復することが期待される腹水濾過濃縮再静注法について、同院の鶴田診療部長に説明してもらいま

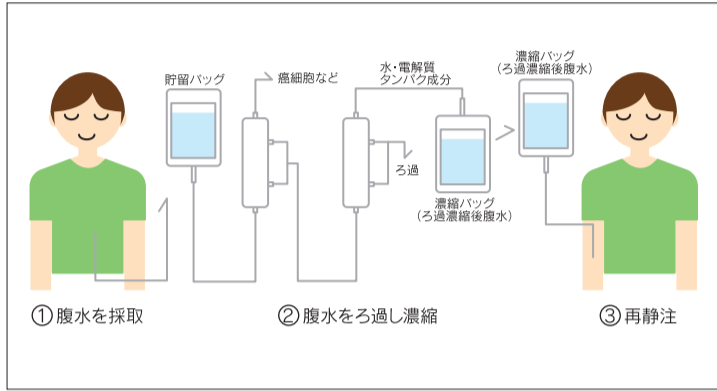
有害ながん細胞や細菌を除去

がん性腹膜炎や肝硬変でみられる難治性腹水は、強い腹部膨満感や呼吸苦などを生じて患者さんのQOL(生活の質)を著しく低下させます。よく行われてきた腹水ドレナージの効果は一過性であり、身体に必要な蛋白成分であるアルブミンやグロブリンの損失により栄養状態や免疫状態を悪化させると共に、腹水の再貯留を来したりやすくなります。

当院では、このような難治性腹水症に対して、保険認可されている治療である腹水濾過濃縮再静注法(CART)を行っています。CARTは腹水を可能な限り抜き取った後に、腹水中に存在する身体に有害ながん細胞や細菌などを完全に除去します。その後、濃縮処置にて余分な水分を除去し、概ね1/5前後に濃縮すると共に、身体に必要な蛋白成分(アルブミン、グロブリン)を回収し、血管内に返し再利用できるようにします。腹水濾過濃縮にかかる時間は約1時間です。

より合併症の少ない治療を提供

腹水濾過濃縮再静注法(CART)は、下図のように二本のフィルターを使用し、がん細胞や細菌の除去、水分除去による濃縮を行います。当院では、人工透析センターを併設しており日々体外循環治療を行なっていますので、テクニックを必要とする腹水濾過濃縮再静注法も専門的な技術を活用し、処理速度の管理、濃縮量の算出、処理中のフィルターにかかる圧力管理、清潔領域での操作処理の取り扱いな



▲腹水濾過濃縮再静注法(CART)の治療イメージ

ど熟知しており、より合併症の少ない治療を提供することができます。

食欲や日常生活動作が改善

CARTは、オピオイドなどの薬物療法で緩和困難ながん性腹水による頑固な腹部膨満感を即時に緩和し、食欲やADL(日常生活動作)の改善が得られるため、患者さんの闘病意欲を回復し、抗がん治療の開始や継続につながります。

また、腹水中のアルブミン、グロブリンを高率に回収して再利用できるため、栄養、免疫状態の悪化を心配することなく、積極的に腹水ドレナージが可能となること、利尿剤が有効となって尿量が増加して腹水が再貯留しにくくなることなどより、がん性腹膜炎治療



鶴田病院

医療法人社団 鶴友会
鶴田病院
〒862-0925 熊本市東区保田窪本町10-112
TEL096-382-0500 FAX096-382-0592

診療科目
消化器内科、内視鏡内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、消化器外科、内視鏡外科、肛門外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科(人工透析)、緩和ケア内科、麻酔科(上妻精二)、放射線科

診療受付
月～金曜日 8:40～12:00
13:50～17:30
土曜日 8:40～12:00
休診日 日曜・祝日

http://www.kakuyukai.or.jp



▲腹水の濾過装置

ならびに緩和医療の現場で非常に有意義な治療方法と考えます。頑固な腹部膨満感が消失すると共に、食事も摂れるようになる患者さんもいます。また、患者さんの栄養状態、免疫状態を改善することで、抗がん剤治療中の患者さんへ、より一層抗がん効果を高めるものと期待しています。

●お問い合わせは
鶴田病院MEセンターまで

3月9日(土)と10日(日)に50周年記念学術講演会

一般市民向けに公開講座(無料)も開講へ

熊本県内の歯科医師の有志で組織する勉強会・熊本歯科三水会(会長・東克章 熊本歯科医院院長)は3月9日と10日、熊本市の鶴屋百貨店東館7階の鶴屋ホールで、「50周年記念学術講演会」を開催します。

これは同会が今年設立50周年を迎えたのを機に開催するものです。9日は午後1時から開会式と50周年記念式典、同日20分から一般市民向けに公開講座(聴講無料)を開きます。テーマは「知っているようで知らない歯・口の不思議な力」を大会長を務める堀川正 堀川歯科診療所、「ここまで来た歯周病治療・先端の世界潮流に学ぶ」東克章(東歯科医院)と題して東会長が、「健康ライフをサポートするために」歯科界からの提案」と題して、伊東隆利伊東歯科口腔病院院長が講演します。

- 3月9日(土)
- 12:20～受付開始
 - 13:00～50周年記念式典/開会式
 - 13:20～市民公開講座(一般市民:無料)
 - ・「知っているようで知らない歯・口の不思議な力」堀川 正(堀川歯科診療所)
 - ・「ここまで来た歯周病治療・先端の世界潮流に学ぶ」東 克章(東歯科医院)
 - ・「健康ライフをサポートするために」歯科界からの提案」伊東隆利(伊東歯科総合病院)
 - 15:00～会員発表(歯科関係者のみ)
 - 19:00～懇親会(歯科関係者のみ)
- 3月10日(日)(歯科関係者のみ)
- 9:00～17:30まで特別講演、会員発表などがあります。

がん予防は生活習慣の改善から

がん予防で重要なのは、①食生活②生活習慣③運動です。国立がんセンターは、この3つについて、「がんを防ぐための12カ条」を発表しています。

《がんを防ぐための12カ条》

- バランスのとれた栄養をとる
- 毎日、変化のある食生活を
- 食べ過ぎをさげ、脂肪はひかえめに
- 酒はほどほどに
- たばこは吸わないように
- 食べ物からビタミンと繊維質のものを多く摂る
- 塩辛いものは少なめに、熱いものは冷まして
- 焦げた部分はさける
- かびの生えたものに注意
- 日光に当たり過ぎない
- 適度にスポーツをする
- 体を清潔に

ご覧の通り、これらは目新しいものではなく、長年、一般的な健康作りに良いと言われてきたものばかりです。日ごろの生活を総点検し、12カ条を少しずつでも取り入れてみてはいかがでしょうか。



本田 壮一郎さん(39)
東町グラン歯科 院長
(熊本市東区東町2丁目)

昨年末に歯科医院を開院。笑気吸入鎮静法や静脈鎮静法、動画ツールを用いた治療説明などを採用しています。全身疾患のある人でも安心の体制をとっており、トータルケア、トータルキュアを目標に信頼される質の高い歯科治療を目指します。

元気発信!

藤原 浩之さん(39)
エクステルソフトウェアジャパン 社長
(熊本市南区薄場町)

医療機関で普及している電子カルテに近いシステム「iMiRiX」を販売。紹介状や定型書式の文書作成機能を有するほか、医療行為や検査結果などの患者情報を時系列に表示するので紙カルテに比べ検索・作成しやすいことが特徴です。

元気発信!

設立50年を迎えた熊本歯科三水会とは

熊本歯科三水会は1963(昭和38)年、熊本在住の歯科医師の有志らにより結成されました。当時、日本の歯科医療は、現在ほどはまだ治療法も確立されておらず痛い歯の治療が中心に行われており、「むし歯の洪水」とも呼ばれる時代でした。旧式で不十分な治療のため、歯科医も患者さん達にとっても不幸な時代とも言えます。そのような時代にアメリカの最先端歯科医療(口腔全体の検査～治療計画～処置～治療後の口腔健康管理で構成される先進的

歯科治療)を導入した東京歯科大学の木下隆治教授の医療管理セミナーに、会員たちは大いなる刺激を受けました。早速、熊本歯科三水会は前近代的な歯科技術しかなかった熊本市に、南カリフォルニア大学歯学部で学んだ納富哲夫先生(現同大学院終身教授)を招聘し、最新治療技術、予約制患者管理システムの導入・普及を図るべく活動を開始しました。その後、50年の長きにわたって会員は、日々研鑽を重ね、地域へ貢献しています。